

2019年度秋 安藤百福名誉博士奨励賞

～ 学部学生(3セメ・5セメ)対象 ～

安藤百福名誉博士奨励賞は、外部財団の奨学金をもらっている人でも応募ができます。
あなたもぜひチャレンジしてみませんか。

募集要項

I. 奨学金の目的

日清食品ホールディングス創業者の故安藤百福立命館大学名誉博士からのご寄付により、この賞は設置されています。将来、アジア太平洋地域のリーダーになることが期待されている者に対し、支援と激励を行うことを目的としています。百福先生は、本学の学生が将来アジア太平洋時代のリーダーになることを期待され、その遺志は引き継がれております。

II. 奨学金の概要

1. 表彰：50万円と賞状

※2020年1月～3月に日清食品ホールディングス本社(東京)を訪問した後に給付されます。

2. 採用人数：4名以内(3セメ2名、5セメ2名)

III. 応募資格

次の条件を全て満たす者とする。

- 第3セメスター期の学生**(第1第2セメスターの活動が選考対象となります。)
第5セメスター期の学生(第3第4セメスターの活動が選考対象となります。)
- 安藤百福名誉博士奨学金制度の趣旨と目的を理解し、将来の目標を明確に持ち、その実現のため、正課・正課外を問わず、APUにおいて積極的な学生生活を送っている者
- 学業成績優秀者または自主活動で顕著な成績を修めた者
- APU定期健康診断を受診している者
- 2020年1月から3月頃に日清食品ホールディングス本社(東京)へ訪問できる者
- 過去に懲戒処分を受けていない者

IV. 評価のポイント

第1次選考、第2次選考とも、以下の評価ポイントや、奨励賞の目的への相応さについて評価します。

【重点を置く評価項目】	
(1)学業	学業優秀であり、学術的に優れた成果がある(または期待される)こと。
(2)活動	課外活動においてリーダーシップを発揮し、優れた実績をあげていること。
(3)将来性	国際社会に貢献したいという強い意志、明確なビジョンや目標をもっていること。
【基礎的な要件】	
(A)	計画性
(B)	実行力
(C)	成果
(D)	説得力
(E)	独創性・創造性(故・安藤名誉博士が最も重視する要素として)
【応募者として】	
(あ)	安藤百福名誉博士や日清食品ホールディングスへの理解と共感

VI. スケジュール(選考から採用まで)

1. 1次選考

(1-1)1次選考提出書類について

【申請締切】 2019年10月25日(金)23:59(日本時間)

【申請方法】 スチューデント・オフィスのサーベイ

(1-2)1次選考結果発表

2019年11月14日(木)(キャンパスターミナル個人伝言にて)

2. 2次選考(1次選考合格者のみ)

(2-1)2次選考ガイダンス

公開面接の準備(PPT・レジュメ・内容確認)、アドバイス、情報提供を行います。

【日時】 2019年11月15日(金) 16:30-17:00

【場所】 後日連絡します。

【対象】 1次選考合格者

(2-2)2次選考面接の日時・場所等について

【日程】 3セメ 2019年12月7日(土) 10:00~12:30

5セメ 2019年12月7日(土) 14:00~16:30

【時間】 3セメ 9:45集合 12:30(終了予定)

5セメ 13:45集合 16:30(終了予定)

*面接終了時間は予定の為、終日予定をあけておくこと

【場所】 未定 【使用言語】日本語および英語

【形式】 公開 *どなたでも参観できます。各候補者の審査中は、部屋の出入りを制限します。

(2-3)2次選考プレゼンテーション及び面接について

【プレゼンテーション(10分間)】「テーマ: 私が安藤百福名誉博士奨励賞の受賞者に最もふさわしい理由」

テーマに沿った題をつけて弁論(スピーチ)を準備して下さい。

注意

① 発表時間厳守

② 10分間のうち、1分間は反対言語を使って自己紹介をし、9分間は基準言語または反対言語、もしくは両言語を使
つての発表となります。

【面接(18分間)】

プレゼンテーション、1次選考用申請書、日清食品株式会社および安藤百福氏についての質疑応答など

注意

① 18分のうち、5分間は反対言語、13分間は基準言語での面接となります。

【友人等によるスピーチ】

プレゼンテーションの前に、友人等による紹介スピーチ(1分以内)を行うことができます。(評価には関係ありません)

(2-5)2次選考結果発表(受賞者発表)

2019年12月20日(金)(キャンパスターミナル個人伝言にて)

3. 受賞者のスケジュール

- ・2020年1月8日(水) 表彰式
- ・2020年1～3月頃 日清食品ホールディングス株式会社訪問(東京) <必須>

Ⅶ. その他

1. 虚偽の申請、その他受賞にふさわしくない場合は、取り消します。
2. 選考の結果、該当者無しとなる場合もあります。
3. 書類に記入する個人情報、受賞者の選考や会社訪問に関する手続きや本学からの連絡、および今後の奨学金制度の改善を図るため、個人が特定されない学内資料の作成目的のみに使用されます。但し、A棟1階の掲示スペースに受賞者の写真・氏名等が掲示される他、公開面接・卒業式スピーチの際の画像や動画が大学により使用される場合があります。

Ⅷ. 問い合わせ先

立命館大学アジア太平洋大学 スチューデント・オフィス

担当: 今村(IMAMURA) / 宮下(MIYASHITA) / 芦田(ASHIDA)

窓口時間	平日 10:00～16:30(火曜日のみ 11:30～16:30)
住所	〒874-8577 大分県別府市十文字原1丁目1番
TEL	0977-78-1124 (平日 9:00～17:30)
E-mail	apustu1@apu.ac.jp

安藤百福名誉博士



安藤百福氏は、1958年に世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を発明。お湯を注ぐとたった2分で食べられる「チキンラーメン」は《魔法のラーメン》と呼ばれ、またたく間に大ヒット商品となりました。

また、1971年には世界初のカップ麺「カップヌードル」を発明。さまざまな知恵と革新的な発想を結集した「カップヌードル」の誕生により、日本で生まれたインスタントラーメンが世界食に生まれ変わったのです。

2005年には、94歳で世界初の宇宙食ラーメン「スペース・ラム」を開発し、宇宙空間でも人類の食を支えた安藤百福。96歳でその生涯を閉じるまで、“クリエイティブな発想”と“最後まであきらめない執念”を持ち続けていました。

安藤百福氏は、立命館大学を1934年に修了、1996年に立命館大学名誉博士を授与されています。

(日清食品グループホームページより引用)